

宮小5年 10月28日 和楽器教室

和楽器紹介



和楽器体験

体験の時間では、子どもたちが気になる楽器を手にとり、講師の方にアドバイスいただきながら音を出したり、初めて触る和楽器を楽しみました。



民謡鑑賞

講師の先生方による和楽器の演奏と民謡を鑑賞しました。山形を代表する花笠音頭や最上川舟歌を唄ってくださいって、子どもたちも聞き入っていました。



鼓（つづみ）は、歌舞伎や能で使われてあり、手で叩くと「ぽん」と高い音が響きます。



三味線は猫皮、津軽三味線は犬皮、沖縄の三線は蛇皮が使われているそうです。



小切子（こきりこ）は竹でできた打楽器。日本最古の民謡「こきりこ節」で使われます。

宮宿小学校
地域活動推進員
古田 雅子

今年も5年生の授業で和楽器教室がおこなわれました。講師は、本町在住の安藤直良先生をはじめとする4名の方にお越しいただきました。上記で紹介した楽器の他にも、尺八や琵琶、横笛、馬子唄鉦（まごうたすず）など、たくさんの和楽器を紹介してくださいました。見て、触れて、演奏や唄を鑑賞するという貴重な授業が、地元の先生方のおかげで実施できていることに感謝です。宮宿小学校では、他にも箏（そう）教室や雅楽教室を音楽の授業の一環としておこなっています。